

本の森

12月号



December

丹波篠山市立中央図書館通信 No. 196 2021年12月1日 発行

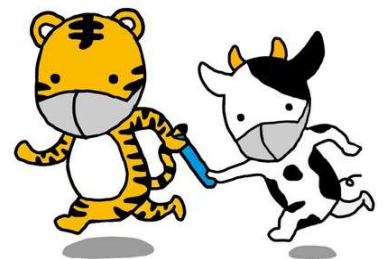
今月の特集

2022年の目標は？

「来年のことを言うと鬼が笑う」といいますが、新年の目標を決めるにはよい時期です。「来年は新しいことに挑戦」という積極的な方、「来年こそ〇〇を達成」とリベンジに燃える方、「目標を決めたいけど何にしていいいのか分からない」という方、まとめて図書館の資料がお手伝いします。

『詩人別でわかる 漢詩の読み方・楽しみ方』

鷲野 正明 著 メイツ出版 921シ



紀元前に中国大陸で誕生し、日本人にとってもなじみ深いはずの漢詩。それなのに、学生時代に学んだ時は返り点などに四苦八苦。読む順番が解っても意味が解らない言葉が多く、げんなりしてそれっきりという方もいらっしゃると思います。しかし自然の美しさや人との別れの切なさを、韻を踏む「押韻」や規則に従って言葉のリズムをとる「平仄」を用いて詠みあげた作品の数々は、ふれずにいるにはもったいない輝きを放っています。

本書では詩人の略歴、作品誕生の背景のほか、植物の「蓮」が出てくると、愛するという意味で使われる「憐」と音が中国語でも同じため、恋愛を暗示することなど、鑑賞のコツを解説しています。

「歲月不待人」といいます。興味のある方、何か新しいことをはじめたい方はぜひ、この機会を逃さず漢詩の世界に飛び込んでみてください。（西澤）





マークデザイン
加藤昌男

文学の棚から

『鉄道無常』^{ひゃっけん}内田百間と^{しゅんぞう}宮脇俊三を読む

酒井 順子 著 角川書店 915.6サ

本書では「目的なく、鉄道に乗る。時刻表を、読む」ということを楽しんだ2人の人物、内田百間と宮脇俊三を取り上げて、この2人を軸として日本人と鉄道について考察しています。内田は物心ついた時から鉄道が身近にあった最初の世代で、鉄道紀行というジャンルを確立しました。宮脇は鉄道全盛期から斜陽の時代にかけて数々の紀行文を発表し、鉄道廃線跡を歩くことで、すたれゆく鉄道を惜しむ境地を示しました。

コロナウィルスの流行で「不要不急」の外出がままならない昨今、自由に移動できることの有難さが実感されます。『女子と鉄道』(686サ)の著作もある著者酒井順子、鉄道マニアを俯瞰する^{ふかん}ような視野と、自らも鉄道を愛し楽しむ乗客としての目線、両方からの分析も見事です。(栗田)



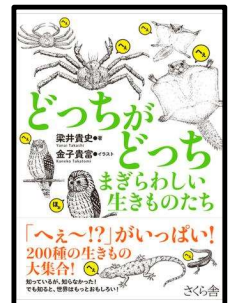
『どっちがどっち』まぎらわしい生きものたち

梁井 貴史 著 さくら舎 480.4ヤ

一般書の棚から

ジュゴン^すは海水に棲み、マナティは淡水に棲む動物です。アシカは陸上で体を起こした状態でいられますが、アザラシは陸上では腹ばいでないとはいけません。一見似ている動物でも、その違いを問われると即座に答えられないものです。似て非なる生きものがこれほどたくさん存在するのは・・・。鱈^{かじか}(魚)と河鹿^{かじか}(カエル)、蟪蛄^{かまきり}(虫)と鎌切^{かまきり}(魚)など、同じ名前なのに全く違う生き物をまとめた“けっきょくナニモノ?”～まぎらわしい名前の生きもの～との2部構成です。

明確に違いがわかる簡潔なイラストと、生物学的解説の両輪で“へえ～”“そうだったのか”の連続で、豆知識の宝庫です。家族で出題しながら楽しんではいかがでしょうか。(小土井)



郷土資料の棚から

【たんばささやま「^{まめ}」知識】

このコーナーでは、丹波篠山にまつわる本を紹介します。



「丹波篠山
—美しき里の四季—
丹波篠山市誕生記念
山本 治之 写真
(郷土) X2/00ヤ

春日神社の元朝能・雪をまとう篠山城と大書院・満開の桜・波々伯部神社の祭礼・田植え・デカンショの花火・稲刈り・秋祭り・黒豆、山の芋の収穫。本書には様々な角度から美しい丹波篠山が収められています。

《 写真家：山本 治之氏 》

丹波篠山市出身の写真家。数々の写真集を発行し、個展を開く。どんなテーマに取り組んでも写真の原点にあるのは『幼いころ過ごした故郷丹波篠山の四季の風景であり、季節の食べ物である』と語る。

本書は令和元年 11 月、丹波篠山市誕生記念として発行され、ご本人様よりご寄贈いただきました。(酒井)

Y onde M ite

よ ん で み て

『Yonde Mite』のコーナーでは利用者の方から寄せられたお勧めの一冊を掲載します



『京大変人講座』
酒井 敏 ほか 著 002.7キ
2019.05 出版

京大の先生方(この方々が
変人です)が難しい課題をと
ても分かりやすく解説して
いて、感動ものです。

ペンネーム しずん理一



『はるかなるヒマラヤ』
坂本 直行著 292サ
2011.07 出版

表紙の絵とタイトルに魅せ
られ読み進めるうちに、著者は
画家であり坂本龍馬の一族で
あることが判明。六花亭の包装
紙は著者のデザインだった。

ペンネーム Nizi



『白医』
下村 敦史 著 Fシモ
2021.05 出版

ホスピスの医師と末期癌
患者と家族の物語。6つの
章に分かれた短篇は耐えら
れないほどの重みを私達に
与える。

ペンネーム 穂高 隆



『野村克也からの手紙』
野村 克也 著 783.7ノ
2018.06 出版

当時、83歳の著者が出会
い、別れた人々から得たこ
と、経験からつかんだ教訓を
彼らへの手紙の形で伝える。
話題のBIG・BOOSにも・・・

ペンネーム 四季



『コロナ禍、貧困の記録』
雨宮 処凛^{かりん} 著 368.2ア
2021.04 出版

貧困の現場を取材し、支援
者の一人でもある著者。
コロナ禍の2020年の記録
です。

ペンネーム 周五郎ヴァン



『水滴』
目取真 俊 著 Fメド
1997.09 出版

ある日、右足が腫れて水が
あふれ出た。夜な夜なそれを
飲みにくるのは誰か？ 沖縄
を舞台に過去と現在が交錯
する。97年度芥川賞受賞作

ペンネーム 珊瑚水木



映画上映会のお知らせ

入場無料
申し込み不要

「ハムナプトラ 失われた砂漠の都」

1999年・アメリカ 125分・日本語字幕

■監督 スティーブン・ソマーズ 監督

■出演 ブレندان・フレイザー 他 出演

■日時 12月17日(金) 14:00~16:05
12月18日(土) 15:00~17:05

■場所 中央図書館 視聴覚ホール

紀元前1290年、国王の愛人と禁断の恋に落ちた高僧イムホテップは、死者の都ハムナプトラで生きてままミイラ化されるという究極の刑“ホムダイ”に処される。彼の怨念は再びその棺が開けられる時まで、神殿の地中深く眠ることになった。

それから3000年の月日が流れた今、伝説と化したハムナプトラを目指す人々の姿があった。

図書館カレンダー 12月行事予定



日	月	火	水	木	金	土
Merry Christmas			1	2	3	4
5	6 休	7	8	9	10 図書館の日	11
12	13 休	14	15	16	17	18
19	20 休	21	22	23	24	25
26	27 休	28	29 休	30 休	31 休	

【中央図書館】

- ★「としょかんまつり」
展示ホール：12/1(水)～10(金)
- ★「雑誌リサイクルフェア」
展示ホール：12/1(水)～8(水)
- ★ 毎月10日は丹波篠山だけ図書館の日
全館：12/10(金) 終日
- ★「クリスマスウィーク」
展示ホール：12/14(火)～25(土)
- ★「映画上映会」
視聴覚ホール：12/17(金)～18(土)
- ★「クリスマス DAY」
展示ホール：12/24(金)～25(土)

今年、あなたが読んだ中で一番おもしろかった本を教えてください

(丹波篠山市立図書館所蔵本に限定)

「わたしの一番 2021」 只今投票受付中!!

受付期間：2021年12/1～12/28

結果発表：2022年2月下旬(予定)

2021年も残りわずかとなりました。一年を振り返りつつ、新年の目標を掲げたいものです。

年末年始のお休みは

12/29(水)～1/4(火)です。

どうぞよいお年をおむかえください。

丹波篠山市立図書館 職員一同